



数々の成果を残し2学期終了

コロナ感染者の増減に振り回されながらも、何とか日々の教育活動を継続することができ、今日2学期が終了しました。保護者の皆様の学校運営に対するご理解、ご協力に感謝申し上げます。終業式の校長挨拶では、感染拡大防止のための地道な取組への謝意と、行事取組を通しての各学年の成長について話しました。コロナ禍の厳しい状況下であっても、子供たちの成長に欠かせない取組があります。どの学年もそのような取組を企画し、実施できたことが2学期の成果に繋がりました。しかし、多くの生徒が出席停止の措置により、学習が十分にできなかった状況もありますので、3学期も引き続き授業の中で補充の学習を行っていきたいと思います。短い冬休みですが、コロナやインフルエンザに気を付け、充実した生活が送れるよう願っています。



自立的に生きる基礎を培う！

義務教育の目的は、「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと」と教育基本法に記されています。私が考える「自立的に生きる基礎」とは、「自分のことは自分でやる」ことです。社会人になって一人暮らしをすることを想像してみてください。会社に遅れないように自分で起きる、朝食を自分で準備して食べる、公共交通機関や自家用車等で職場まで自力で移動する、夕食を作り使った食器類を洗う、衣類を洗濯して干す、部屋を掃除する等、自分でやらなければならないことがたくさんあります。それらは、義務教育のうちに、少しずつできるようにしていかなければならないことです。保護者がやった方が早く済むことではありますが、将来のことを考えて、少しずつでもやらせて慣れさせていかなければ「自立的に生きる基礎」は培われたいと思います。比較的時間に余裕のある冬休み中に、「自分のことは自分でやる」に挑戦させてほしいと思います。

